

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-1-2 消防防災対策の推進
---------	-------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	消防総務課長 角森 豪	電話番号	0852-22-5886
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	航空消防防災活動事業		
目的	(1) 対象	救助・救援を必要とする県民等 航空機を用いた消防防災活動を必要とする市町村等	
	(2) 意図	航空機を用いて、迅速で機動的かつ多様な消防防災活動を行う。	
事業概要	高速で機能的かつ多様な消防活動を行う。 1. 防災ヘリコプター 平成24年度現機体運航開始 2. 防災航空管理所組織 所長1名、防災航空隊員10名 パイロット・整備士等7名（民間会社に委託）		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
			式・定義	防災ヘリ出動要請に対する対応状況	目標値	100.00	100.00		100.00
	式・定義	要請に対する対応	実績値	100.00	100.00	100.00	100.00		パーセント
			達成率	100.00	100.00	100.00			%
成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
			目標値	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	式・定義		実績値	0.00	0.00				パーセント
			達成率	0.00	0.00				%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	233,867	276,282
うち一般財源(千円)	233,867	214,482

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

防災ヘリ緊急出動件数の推移については、以下のとおりである。
 H24年度 86件
 H25年度 80件
 H26年度 101件

6. 成果があったこと（改善されたこと）

出動要請には対応できている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
平成23年6月からドクターヘリが運行されている。しかしながら、ドクターヘリが、夜間や点検等で運航できない場合や、2つのヘリが既に出動している場合の救急搬送などの緊急運航要請に応える必要がある。
- ②困っている状況が発生している「原因」
防災ヘリが、点検等のため運航できない場合がある。
- ③原因を解消するための「課題」
防災ヘリが点検等のため運航できない場合の応急体制を整備する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

今後も引き続き警察本部、自衛隊、海上保安庁と県担当課で構成される県航空防災対策連絡会の開催や、消防・医療機関、他県との情報交換等により連携を強化し、ヘリコプター等による広域救急搬送体制などの緊急運航体制の充実を図る。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）